

第1 学年英語科学習指導案

日 時： 平成21年11月19日(木) 5校時

生 徒： 1年A組(男子10名、女子14名、計24名)

場 所： 1年A組教室

授業者： T1 教諭 宮本 広道

T2 ALT リンジー=ブロイス

T3 教諭 多田 美由紀

1 単元名： Unit 8 はじめてのカナダ旅行(東京書籍 NEW HORIZON English Course BOOK1)

2 単元について：

(1) 教材観

本単元は、絵美、慎、マイク、ジュディの4人が冬休みにカナダへ旅行に行くという場面で、(1)ものがどこにあるのかを尋ねる、(2)かばんなどを見て誰の持ち物かを尋ねる、(3)有名人について友達に尋ねる、という3つの場面で構成されている。

これまで疑問詞は what, who, how many..., which などを学習してきたが、本単元では、where を用いた疑問文と、場所を表す前置詞を用いた応答文、whose を用いた疑問文と、mine, yours などの人称代名詞の所有格を用いた応答文、そして him, her などの人称代名詞の目的格をまとめて学習する。これにより英語で自己表現できることの内容が広がると予想される。それぞれの表現の形・意味・用法を理解させ、簡単な対話を行わせることによって話す力と聞く力を高めさせるとともに、自分がたずねたり答えたりしたことや相手が述べたことなどを書かせるなど、書く力を高めるのに適した教材である。

(2) 生徒観

英語の授業には一生懸命取り組みたいという生徒達が半数を占めている(アンケート結果「英語が好きである、楽しい、頑張りたい」63%)。間違いを恐れずに練習や発表、発言しようとする姿勢が多く見られる一方、挙手をする生徒が固定化してきている状況も見え始めるなど、英語の学力において上位と下位の差が大きくなってきている。上位の生徒は既習事項が定着し、集中して授業に臨もうとする。下位の生徒も一生懸命授業や家庭学習に取り組んでいるが、アルファベットの太文字と小文字の区別があいまいで判別が出来ない生徒や、日本語と異なる文法構造(主語―述語動詞―目的語といった語順)が定着していない生徒などが数名いる。

本単元では言語材料として wh-疑問文とその応答、人称代名詞について学ぶが、音読練習や対話練習に一生懸命取り組みようとする意欲・姿勢をうまく生かして授業に臨ませたい。また本校で取り組んでいる「終学習」において、学習したことをその日のうちに振り返らせ、家庭学習につなげるというサイクルも大切にしながら定着を図っていきたいと考えている。

(3) 指導観

基本的に最初に音声での導入・提示、その後に発音の助けとして文字(語句)を導入するという流れで進めている。練習を重ねさせ、「言える、使える」、「通じる、」という嬉しさを味わいさせながら力をつけさせていくように指導していきたい。

Unit 8からUnit 10までは、絵美、慎、マイク、ジュディの4人によるカナダ旅行が描かれている。本単元においては日本を発ち、カナダの空港に降り立つまでを扱う。描かれる場面は基本文を効果的に扱っており、本文の暗唱がそのまま日常生活での運用へつなげられると考える。

本時においては、教科書本文の音読から暗唱へつなげた後、ペアワークによる言語活動を通し何度も基本文を練習させて、学習事項の確実な定着へつなげたいと考える。

3 単元の目標：

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・言語活動において新出文型を用いて相手に尋ねたり、それに答えたりしようとする。

【表現の能力】

- ・ Where ...? の文を用いて相手に尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ Whose ...? の文を用いて相手に尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ 人称代名詞の目的格を正しく使うことができる。

【理解の能力】

- ・ 本文を読んで、内容を理解できる。

【言語文化に関する知識・理解】

- ・ Where ...? の文とその応答の形・意味・用法を理解している。
- ・ Whose ...? の文とその応答の形・意味・用法を理解している。
- ・ 人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解している。

4 指導計画と評価規準：

	時数	評価規準
Part 1 ものをさがそう	1.5 (本時1時間目)	関 Where ...? の文について、意欲的に使おうとしている。 理 本文の内容を説明することができる。 表 Where ...? の文を用いて、自分のものの場所を尋ねたり答えたりすることができる。
Part 2 だれのもの?	1.5	関 Whose ...? の文について、意欲的に使おうとしている。 理 本文の内容を説明することができる。 表 Whose ...? の文とその応答の文を用いて相手に尋ねたり答えたりすることができる。
Part 3 あの人知ってる?	1.5	関 人称代名詞を用いた文について、意欲的に使おうとしている。 理 本文の内容を説明することができる。 言 人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解し、表現できる。
まとめと練習 4 代名詞	0.5	言 人称代名詞について理解している。
Listening Plus3 海外旅行	0.5	理 空港や機内での典型的な文話を聞いて(搭乗券の確認や機内での注文)、ポイントを聞き取ることができる。
単元テスト	0.5	言 本単元で学んだ言語材料を理解し、適切に使うことができる。

5 本時の指導：

- (1) 本時の目標 ①言語活動の中で、「Where ...?」の文とその応答の文を使い、話を続けようとしている。
 ②「Where ...?」の文を用いて、尋ねたり応答したりすることができる。
 ③本文の内容について、説明することができる。

(2) 本時の評価

観 点	具体の評価規準		
	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への支援
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動の中で、「Where ...?」の文とその応答の文を使い、意欲的に話を続けようとしている。	言語活動の中で、「Where ...?」の文とその応答の文を使い、話を続けようとしている。	板書事項やプリントなどのヒントを提示し、自信を持たせる。
表現の能力	「Where ...?」の文を用いて、正しく尋ねたり応答したりすることができる。	「Where ...?」の文を用いて、尋ねたり応答したりすることができる。	基本文とその応答の仕方についてヒントを与える。
理解の能力	本文の内容について、正しく説明することができる。	本文の内容について、説明することができる。	新出語を確認させたり、ピクチャーカードなどのヒントを与える。

(3) 本時の展開

	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点 ◇教師の指導 ◆評価
導入 10分	1 あいさつ： 2 W-UP： 3 学習課題の把握	1 元気にあいさつする。 2 既習の語句や文型を使ったQ-Aを行う。 3 Where...? の文を含んだJTEとALTの対話を聞き、場面や内容を理解する。 新文型の確認	◇本時の学習につながる練習、Q-A ◇文字は出さず音声のみで導入する。
モ/のあいかを聞き出そう！			
展開 30分	4 新文型の練習とまとめ 5 本文の内容確認 6 音読練習	4 ①新文型の練習 ②まとめ 5 ①新出語句の確認 ②内容の読み取り 6 ① 黒板を見ての一斉練習 ② 暗唱	◇ピクチャーカードを用いてALTの後についてのパターンプラクティス。既習の語彙、場所を表す前置詞を用いて練習する。 ◆ [理解] 本文の内容について、説明できる。 ◇新出語句はすぐに日本語を与えず、音声から想像させる。内容については観点を与えて内容を読み取らせる。 ◇ナチュラルなスピードで音読できるよう意識させて練習に臨ませる。

	7 言語活動	7 Where's my...? の文型を用いて、モノの場所を尋ね合うペアワーク（インフォメーション・ギャップ）。練習の成果を数ペアが発表する。	<p>◆ [意欲] 言語活動の中で、「Where's my...?」の文とその応答の文を使おうとしている。</p> <p>◆ [表現] 「Where ...?」の文を用いて、尋ねたり応答したりすることができる。</p> <p>◇英語だけで活動を行うことと、相手の目を見て尋ねたり答えたりすることを指示する。机間指導を行い、個別に生徒に助言する。</p>
終末 10分	8 本時のまとめ 9 家庭学習の指示と次時の連絡 10 あいさつ	8 JTEとALTの話す英文を聞いて、指示される場所にモノを置く。 9 宿題としてGアップシートを解いてくる。 10 元気にあいさつする。	◇板書事項をヒントとして与える。

(3) 板書計画

Thursday, November 19, 2009, sunny

Unit 8 はじめてのカナダ旅行

目標 モノのありかを聞き出そう!

Where's my ~ ? 「どこに、私の～はありますか？」
(= Where is)

It's { in ...
on ...
by ...
under ...

① マイクが壊れているのはなぜか?
② マイクは何と何と何をさがしているか?
③ マイクのぼうしはどこにあったか?

PC

Oh, no! I'm late! Where's my ticket?
It's by the computer.
Where's my bag?
It's under the desk.
Where's my cap?
It's on your head!

— 英3 —

— 英5 —